

国家基幹技術の評価について

平成18年4月24日
総合科学技術会議
評価専門調査会

第3期科学技術基本計画ならびに分野別推進戦略が策定されたことに伴い、今後、総合科学技術会議が「国家基幹技術」の評価を実施することになるが、評価の実施については次のとおり進めることとする。

1 評価の対象

今回精選された5つの「国家基幹技術」のうち、平成17年度に大規模新規研究開発の事前評価を行った研究開発課題（次世代スーパーコンピュータおよびX線自由電子レーザー）を除く、次の3件を対象とする。次世代スーパーコンピュータおよびX線自由電子レーザーについては、大規模新規研究開発の事前評価をもって、「国家基幹技術」の評価に代えるものとする。

- ・海洋地球観測探査システム（文部科学省）
- ・高速増殖炉サイクル技術（文部科学省）
- ・宇宙輸送システム（文部科学省）

2 評価対象の単位

「国家基幹技術」は、基本計画において「国が主導する一貫した推進体制の下で実施され」る「長期的かつ大規模なプロジェクト」で、「国家的な長期戦略を明確にして取り組むもの」としており、上記1の各々の「国家基幹技術」を一つのプロジェクト単位として評価を行う（「国家基幹技術」を構成する個々の研究開発課題を単位とした評価は行わない）。

3 評価の内容・項目

「国家基幹技術」に対応する長期戦略に照らし、「国家基幹技術」全体としての一貫した推進体制・評価体制等のマネジメントの有効性・効率性を主として評価を行う（「国家基幹技術」は既に「基本計画期間中に集中的な投資が必要」として“精選”されたものであり、必要性については評価の観点に含めない）。

その際、各省の評価結果等を踏まえた評価を行い、過度に技術的な内容とならないように留意する。

4 評価結果の取扱い

評価結果は公表するとともに、関係府省（大臣）に意見具申し、関係府省等による研究開発資源の配分、推進体制の改善、研究開発のマネジメントの向上等への活用を促す。このため、評価は各府省等による平成19年度予算概算要求の提出前に実施する。

5 スケジュール

- | | |
|-------|---------------------------|
| 5月～6月 | 評価作業の開始（評価専門調査会において調査・検討） |
| 7月末 | 評価結果の確定（本会議で決定） |